

## 労働者配置計画書（様式3（別紙））の記入における注意事項等

- 1 職種（A）、概要（B）は、当該委託の全ての職種・概要について記入してください。
- 2 公共工事設計労務単価（C）は、設計書の「積算情報表」に記載されている設計年度の職種（愛知県）の単価を記入してください。
- 3 通常支払賃金単価（D）は、当該委託前における支払単価を記入してください。複数人を配置予定の場合は、同じ職種でも経験年数、熟練度等により賃金に幅がある場合は、その平均額を記入してください。
- 4 当該業務支払賃金予定単価（E）は、本委託において支払われる予定の単価を記入してください。また、当該業務支払賃金予定単価（E）には、定期昇給及びベースアップの金額は含みません。
- 5 月給制の場合は、通常支払賃金単価（D）及び当該業務支払賃金予定単価（E）について、賃金等の内訳の「月額＋基準内手当＋臨時の給与＋実物給与」の合計額に12月を乗じ、年間所定労働時間で除し、1時間当たりの賃金を算出し記入してください。  
その他月給制でない場合は、通常支払賃金単価（D）及び当該業務支払賃金予定単価（E）について、賃金等の内訳の「月額＋基準内手当＋臨時の給与＋実物給与」の合計額を賃金計算期間の労働時間で除し1時間当たりの賃金を算出し記入してください。
- 6 従事予定日数（I）については、従事予定期間の予定労働日数を記入してください。
- 7 従事予定時間（J）については、従事予定期間の予定労働時間（1日あたり）を記入してください。

## 評価の考え方

- ・ 「当該業務支払賃金予定単価（E）／公共工事設計労務単価（C）×100」・・・（F）の水準により評価を行います。
- ・ 「当該業務支払賃金予定単価（E）－通常支払賃金単価（D）」・・・（G）はすべての職種において（G） $\geq 0$ を基本とします。